



へ13 特
3085
2

白癡物語卷之下

目録

兎のお泣きさしふもさかたさし
 何ぞ唐詩選のあつねの文字さかたさし
 酒さかたさして夫をさかたさし
 酒さかたさして夫をさかたさし
 耳さかたさして夫をさかたさし
 某の嫁放屁の事
 さかたさして夫をさかたさし
 夫をさかたさして夫をさかたさし



松坂のくまの圖まのあふり
孫康と志のいふる事
何れも好の事
子やうもちの志き人の事
某のこゝろ女の童の事
某乃るくく座禪の事
何れ天王寺遠立の事
某乃入る戦むの事
何れ乃るせんあふさう志の事
某のくまの事

某乃あふさうの事
何れくまの事
素父乃あふさうの事
医剛何れ物事
某乃素の事
何れ乃あふさうの事
某と地州と向答の事

夫婦出づるは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん
世にあらざらんは世にあらざらん

○何ぞ唐詩選のあはれ文字をくたさず
世にあらざらんは世にあらざらん

小南侍選のあはれ文字をくたさず
信長文のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず
信長の官のあはれ文字をくたさず

○酒をくたさず夫をくたさず妻乃事
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず
今もくたさず今もくたさず今もくたさず



けりらるる何の遊志もく大政の事をも物てあり
 るをあらわらるるにけりらるる川をかくちりさるるら
 髪をいへとも妻かこ子こをいへるやちりさるるはけり
 あらるるんさるるあはれとさるるちりさるるま
 るかみさるるらるるね契男の何の何の事もさる
 下河らるるがあらるる日暮さるるさるるさるるか
 けりらるるさるるさるるさるるさるるさるるさるる
 るにぞ髪をく一筋さるるさるるさるるさるるさるる
 けりらるるあはれとさるるさるるさるるさるるさるる
 けりらるるかみさるる髪をいへるさるるさるるさるる

おくりさし具一もきしりつりさし
らそくさしびてしつちさしつちすれさし
ありんさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし

傍れさしちさしちさしちさしちさしちさし
れ女ハトリくどさしちさしちさしちさし
ねあやまちつちさしちさしちさしちさし
さしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし
ちさしちさしちさしちさしちさしちさし

瓶びん子こうう母ははををちちししちちささししちちささししちちささしし

洞くさやうりんききふくもあうりくはざいんが
 ろんあまこつて赤くちあがくむしいなる此きやめ
 とりむらゝかやれるひりの判安代さくく人の
 まがいのやいんか

○これれをたすくの人事

むうーちうりんききふくもあうりくはざいんが
 病ゆやへりんいみじいれををしきくはまあ
 けくあうりんかうさまふむういんそのひのさくく
 まーるをうりくくの病をもよく癒治一のさき
 て付きくかむくくとむうりんさくくくく人たまも

あうりんききふくもあうりくはざいんが
 ろんあまこつて赤くちあがくむしいなる此きやめ
 とりむらゝかやれるひりの判安代さくく人の
 まがいのやいんか
 病ゆやへりんいみじいれををしきくはまあ
 けくあうりんかうさまふむういんそのひのさくく
 まーるをうりくくの病をもよく癒治一のさき
 て付きくかむくくとむうりんさくくくく人たまも

かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて

五ノ

かきつゝあつて豊年になつたはつかつて

○松坂のとき一圃王のおよび

かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて
かきつゝあつて豊年になつたはつかつて

ありわがてあはれこの鬼どもなるたをささへしな
い〜なるをささへしな〜すな〜つ〜今もな〜
地獄〜なるをささへしな〜あをささへしな〜君
のあはれ〜なるをささへしな〜神のあはれ〜
ささへしな〜なるをささへしな〜日け〜
い〜なるをささへしな〜千有餘年と雖も〜
あ〜わが地獄〜なるをささへしな〜なりて作ら
す〜なるをささへしな〜書どもあはれ〜矢の下ふ
むろさ〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
作ら〜なるをささへしな〜の國はわが〜

上の世〜なるをささへしな〜わが地獄のささへしな
ま〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
ま〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
らぬ〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ

○孫原と志〜なるをささへしな

む〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
らぬ〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
もな〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
あり〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ
い〜なるをささへしな〜あはれ〜なるをさ

ていしりあまぐんまもつろがんたあんとよ
るやういろるむうんろしん車胤しん人
にあふまぐんあつらふたのしんよと孫康と
んまふたのふたふたふたふたふたふたふたふたふた
雲中の雲ふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた
ふたふたふたふたふたふたふたふたふたふたふたふた
かて日ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん

あの日朝しん童しんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
おろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
でかろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん

ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん
ろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしんろしん

せしをみやめくすしすぢやうておもひこ
まゆこいしゆびふかしくかきくさくさ
しすわしをぢやうかき洋じんをいよあめ
りんじんはけりしきんゆふぢやうぢやう
とけり学生うちすてをさうしてあむあくら
るこぞ

○何ぞい多好の事

今をむい何ぞいぬ殿うしゆんをぢやう
あくらしゆんきさくはしゆんかだぢやうぢやう
しやしきまぢやうぢやういさやういあしきぢやうぢやう

い今平仲ぢやうぢやうはさすいりりり何ぢやうの黒
沙流まじんぢやうぢやうあぢやうぢやう十月ぢやうぢやうぢやう
てしゆんぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
りんさきうはぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
ぬぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
くさぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
ぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
いぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
あくらぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう
ぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやうぢやう

らぶるんしにたかおかいたるまはなむん
たしむるまをふかむかまなすむかむか
かあむかむかむかむかむかむかむか
りむかむかむかむかむかむかむか
一むかむかむかむかむかむかむか
むかむかむかむかむかむかむか
むかむかむかむかむかむかむか
○まふむかむかむかむかむか
今むかむかむかむかむかむかむか
あむかむかむかむかむかむかむか

死むかむかむかむかむかむかむか
弟あむかむかむかむかむかむかむか
あむかむかむかむかむかむかむか
一むかむかむかむかむかむかむか
月あむかむかむかむかむかむかむか
あむかむかむかむかむかむかむか
むかむかむかむかむかむかむか
むかむかむかむかむかむかむか
○まのむかむかむかむかむかむか
何のむかむかむかむかむかむかむか
あむかむかむかむかむかむかむか

あまのついでに塔の事つらふもあはれとていひしりか
しつゝもいふ事あはれおぼしむちかき事うかづらん

○某乃に入る戦ひの事

むしつゝきの國麻村のちかきわらへる何うの入るといふ
人あつゝもあつゝもいふ事あはれとていひしりか
ものいふ事あはれとていひしりか
那時とていふ事あはれとていひしりか
あつゝもいふ事あはれとていひしりか
敵とのちかき事あはれとていひしりか
あつゝもいふ事あはれとていひしりか
あつゝもいふ事あはれとていひしりか



乃ちちよりのいづれよりよきいふる兵^{そよ}二人也きくは徳
 入るをともまけ戦むく歌おひく〜〜〜
 つまじいと思涙おわがえくれが日ごりま〜
 一あふ〜〜〜ぬ〜〜〜乃か〜戦む〜
 人〜〜〜物〜〜〜何む〜〜〜君〜〜
 ぬ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
 子〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
 ぞ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
 夫〜〜

○某乃さんあめさ〜〜〜ぶ〜〜〜乃事

何人〜〜〜
 一〜〜〜
 らん〜〜〜
 む〜〜〜
 ぼ〜〜〜
 い〜〜〜
 む〜〜〜
 め〜〜〜
 ぞ〜〜〜
 〇某の〜〜〜

○某の〜〜〜

都のちへ行くまふとくあるくましくはづき学生
 とちへ飛てもむいへくく学生ありしに御前ふ
 出さういひこま穢あうれどかゞづやと思ひこく次
 がりゆさくのみくま一とむこぎけりくいきく家
 ほとたゝ敷むくありあうあうとあうくれど次き
 のよくとちやく一敷学生ふるまうしへありぬ学生い
 さくこくまきくありてあうくと乃天やおをほくと
 乃まきんといくと書出むくくあうくと家いそ
 ぶくねおのきくらあきくしへ学生おれきあ
 乃書かいくさくく物く何くひの穢侍く縁くれ

うらまおのまんとくありまきつらゆりく
 あうとけあまもまうくいとくくさくうくく
 いつあうくとまきくゆべれためあ一やわせんそ
 やぐくづく穢侍もてあうくわぬと学生らよ
 るくめくまきくわくさく一はくはきんすぜんてあ
 うくこくかむくまゆく一あうくまゆくくわなれ
 此くまきんすわいくと何くはすれくあうく
 けくくくまゆくまゆく一はくまゆくまゆく
 かくくくくくくまゆくくくくくくく物たれ
 どのくまゆくくくくくくくくくくくくくわく

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines.

わがこゝろに成すつれは...
うむいさるけふは...
はあ...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...



ていつくしのうきさきまゝにさうざんゝをさへひらき
　　乃ちしちるゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　るゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　何じゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　るゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　るゝまゝにさうざんゝをさへひらき

○おゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　わゝまゝにさうざんゝをさへひらき

あゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　たゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　ゝゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　何ゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　しゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　あゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　たゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　ゝゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　何ゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　しゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　あゝまゝにさうざんゝをさへひらき
　　たゝまゝにさうざんゝをさへひらき

さうし物あをいば今より居いたまふのたしあめいりり
 人しうたごふみかひしんかーいひのーいりーや
 りんがあーいひびあごらーいひのひまかかかか
 りうたの悪筆をけけいんかかかかかかかかかか
 べんかかかかかかかかかかかかかかかかかか
 満あーいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
 うの男のあーいひいひいひいひいひいひいひいひ
 うかかかかかかかかかかかかかかかかかかか
 ともよごあういひいひいひいひいひいひいひいひ
 物いひいひいひいひいひいひいひいひいひいひ

悪筆よおりのひるを偏るをーいひいひいひいひいひ
 らうちせーいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
 い筆さーいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
 ろうごらる悪筆あうううううも当終出さううう
 があーいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
 あかーいひいひいひいひいひいひいひいひいひ
 ぞ
 ○某文はかーいひいひいひいひいひいひいひ
 わが隣軍舟行がーいひいひいひいひいひいひいひ
 はくろふ人あううううあむいひいひいひいひいひ

Handwritten text in a cursive style, likely a letter or a personal note. The text is written in Japanese characters, possibly including a signature or a date at the bottom right.

Handwritten text in a cursive style, continuing the letter or note. It includes several lines of text, ending with a circular seal or stamp on the left side.

あゝ〜の西京あゝ〜の人の人々〜よわぬ〜とれきあれ
 と〜ごら〜づ〜い〜あ〜り〜を〜ん〜て〜し〜や〜一〜た〜の〜困
 の痛うは〜ず〜と〜よ〜のつゆ乃〜と〜と〜と〜と〜と〜と〜と
 ぱいち志や〜黄泉の窓〜か〜う〜あ〜と〜ど〜う〜と〜と〜と〜と
 おろ〜き〜よ〜ら〜ん〜を〜ぬ〜つ〜わ〜の〜う〜め〜我あわのあふて〜此
 と〜た〜より〜あ〜る〜痛〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を〜を
 ど〜と〜れ〜い〜や〜〜ち〜わ〜〜き〜ど〜〜な〜ま〜〜ら〜ん〜な〜ま〜ら〜ん〜
 一〜ぬ〜い〜そ〜〜い〜む〜〜と〜と〜〜れ〜〜神つ〜と〜ん〜い〜み〜づ〜か〜ら
 あま〜〜は〜袋乃業に〜〜と〜お〜ぶ〜て〜ぞ〜い〜〜あ〜〜く〜け〜は
 さ〜〜共お〜〜き〜〜の差〜〜い〜〜む〜〜つ〜〜い〜〜げあ〜ら〜る〜喜〜れ



かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた

かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた

○某乃某の事

かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた
かゝるやうな事ならはせしむべき事なれば
けふもあつたがうらなひもあつた
うらなひもあつたがうらなひもあつた
今もあつたがうらなひもあつた

おび夫婦らとてあはれいふ所のうらむお床をなぞて
けりしねがえらるるをよむてあるおとりのい
かきりちてこそうまかのく原をよびにまぬく作
ハ女ハ志アハカ一てそれ腰のけりうをあげおるい
くそむいそ物かいらはけりかきかづうまとい
あどはげむいんちうううえまいとまが細くたさや
うねまばらま一たにいどく免ぐまどくさうさ
みかおらちあがも願作^ハ輕羅^ハ著^ハ細腰^ハとらちびし
ぬうそまよし一たる夫このおとさうう今乃わど
くわいのらむよいむいんちうたそく物免らみ

ううそ乃いんちうは例におれり物らるるはだれ
どねさぬまらうう今乃ら吾房よいさき登
のまら物あまがそれかたさういよまそま
おとりがまむい風の阿房宮の織をまを
かこら五雜俎の書も志すそれら登めか
むいんちうまらうらざんていんわうけ
そ
○某乃家のそま
何がよまのそあうてもまを何げら
まらいぬまらまのそらの人いれはれゆ

Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese calligraphic style (sōsho). The text is arranged in a single vertical column, reading from right to left. It consists of approximately 15 lines of characters.



